

### 3. 環境問題について

#### 3-1. ごみ減量化のために日ごろ心がけていること

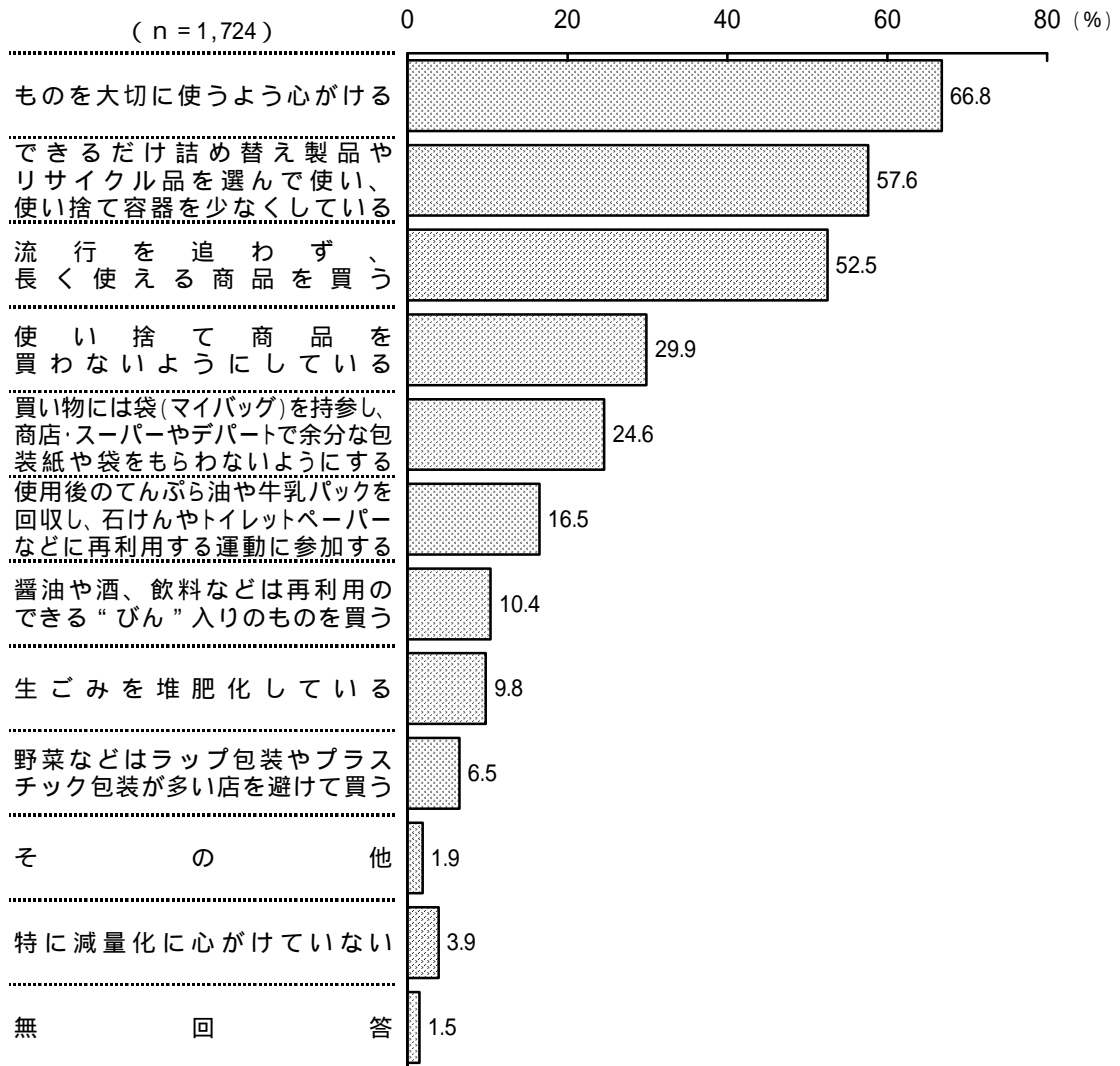
「ものを大切に使うよう心がける」が7割近くで最も多い

問 11 あなたは、ごみの減量化について、日ごろ心がけていることがありますか。次の中から <u>いくつでも</u> 選んでください。	( n = 1,724 )
1. 使い捨て商品を買わないようにしている	29.9%
2. 流行を追わず、長く使える商品を買う	52.5
3. 醤油や酒、飲料などは再利用のできる“びん”入りのものを買う	10.4
4. 買い物には袋(マイバッグ)を持参し、商店・スーパーやデパートなどで余分な包装紙や袋をもらわないようにする	24.6
5. 野菜などはラップ包装やプラスチック包装が多い店を避けて買う	6.5
6. 使用後のてんぷら油や牛乳パックを回収し、石けんやトイレトーパーなどに再利用する運動に参加する	16.5
7. ものを大切に使うよう心がける	66.8
8. 生ごみを堆肥化している	9.8
9. できるだけ詰め替え製品やリサイクル品を選んで使い、使い捨て容器を少なくしている	57.6
10. その他	1.9
11. 特に減量化に心がけていない	3.9
	(無回答) 1.5

ごみ減量化のために日ごろ心がけていることを聞いたところ、「ものを大切に使うよう心がける」(66.8%)が7割近くを占めて最も多く、次いで「できるだけ詰め替え製品やリサイクル品を選んで使い、使い捨て容器を少なくしている」(57.6%)、「流行を追わず、長く使える商品を買う」(52.5%)、「使い捨て商品を買わないようにしている」(29.9%)、「買い物には袋(マイバッグ)を持参し、商店・スーパーやデパートなどで余分な包装紙や袋をもらわないようにする」(24.6%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「買い物には袋(マイバッグ)を持参し、商店・スーパーやデパートなどで余分な包装紙や袋をもらわないようにする」が前回調査(17.5%)より7.1ポイント高くなっているほかは、ほぼ前回と同じ傾向になっている。

図3 - 1 - 1 ごみ減量化のために日ごろ心がけていること



属性分析 ( 図3 - 1 - 2 )

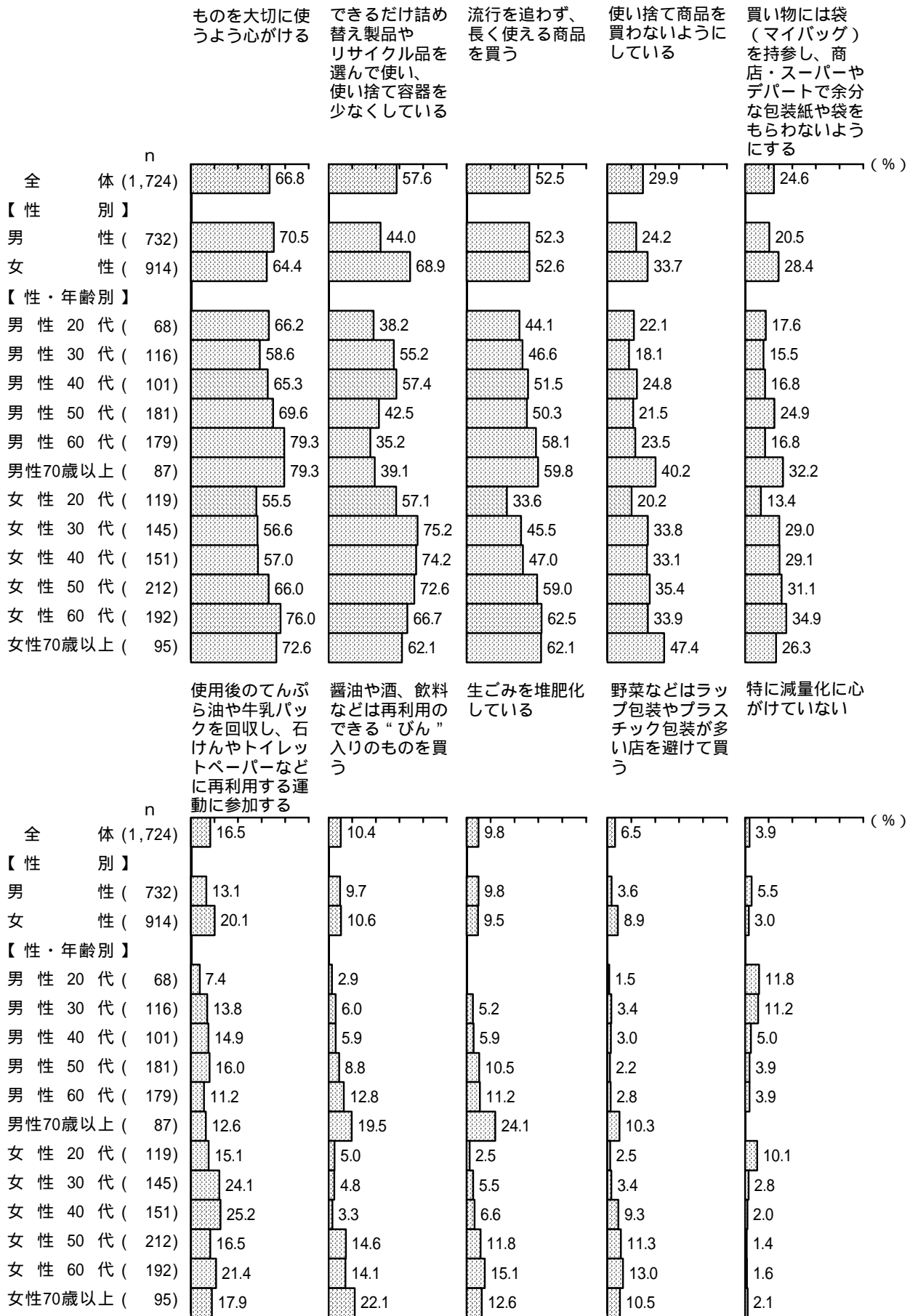
【性別】

「ものを大切に使うよう心がける」は男性の方が6ポイント高くなっている。一方、「できるだけ詰め替え製品やリサイクル品を選んで使い、使い捨て容器を少なくしている」は25ポイント、「使い捨て商品を買わないようにしている」は10ポイント、「買い物には袋(マイバッグ)を持参し、商店・スーパーやデパートで余分な包装紙や袋をもらわないようにする」は8ポイント、「使用後のてんぷら油や牛乳パックを回収し、石けんやトイレトペーパーなどに再利用する運動に参加する」は7ポイント、それぞれ女性の方が高くなっている。

【性・年齢別】

「ものを大切に使うよう心がける」は男性60代以上の年代でほぼ8割に達している。「できるだけ詰め替え製品やリサイクル品を選んで使い、使い捨て容器を少なくしている」は女性の30代から50代の年代で7割を超えている。「流行を追わず、長く使える商品を買う」はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。「使い捨て商品を買わないようにしている」は男女とも70歳以上の年代で4割から5割近くを占めている。「生ごみを堆肥化している」は男性70歳以上(24.1%)で2割半ばを占めている。

図3 - 1 - 2 ごみ減量化のために日ごろ心がけていること - 属性別



### 3 - 2 . 環境改善のために日ごろ心がけていること

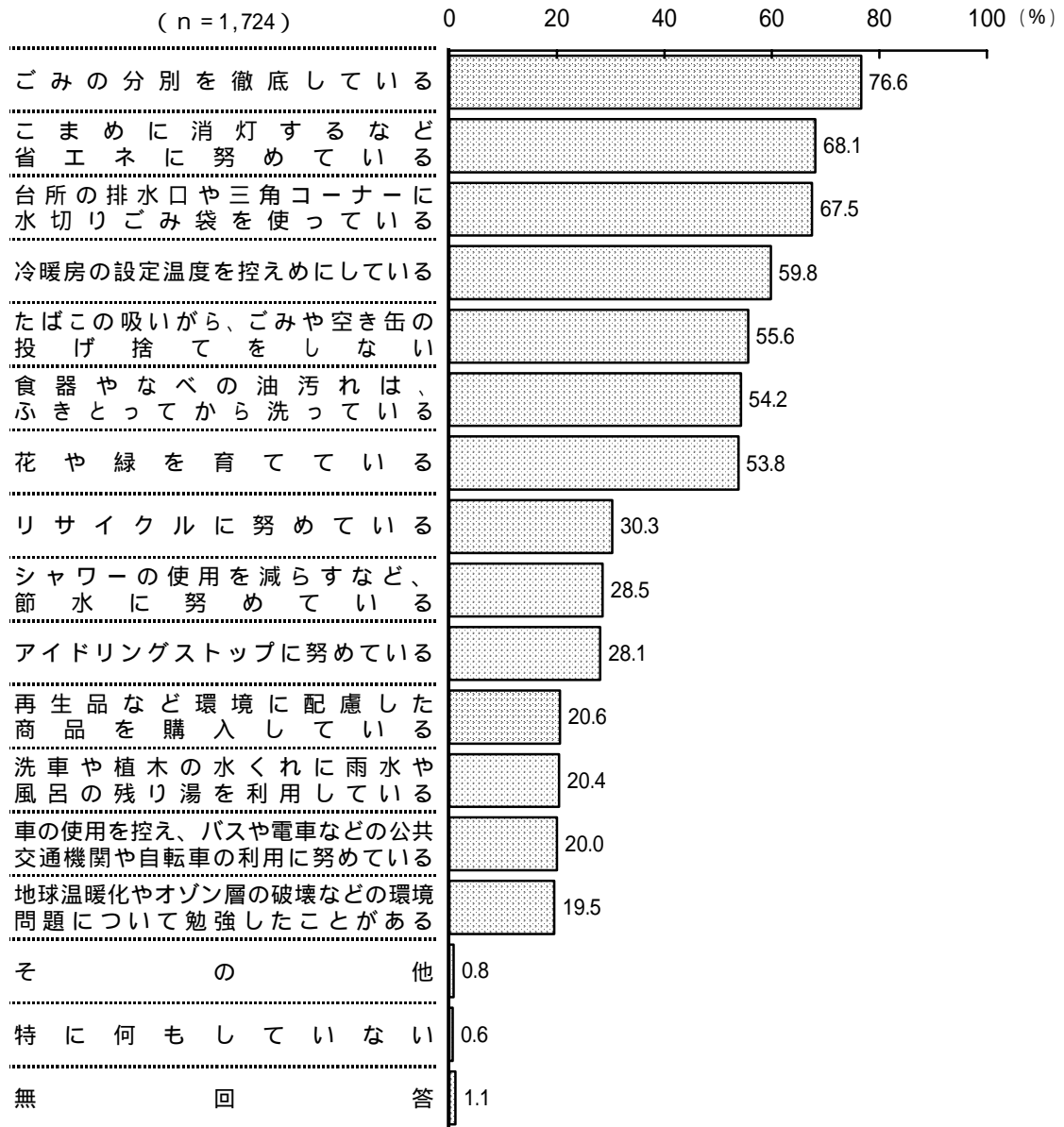
「ごみの分別を徹底している」が7割半ばで最も多い

問 12 日常生活の中で、ちょっとした工夫をすることによって環境をよくすることができます。あなたやご家族が日ごろ行っていることを、次の中からいくつでも選んでください。 ( n = 1,724 )

1 . 台所の排水口や三角コーナーに水切りごみ袋を使っている	67.5%
2 . 食器やなべの油汚れは、ふきとってから洗っている	54.2
3 . 車の使用を控え、バスや電車などの公共交通機関や自転車の利用に努めている	20.0
4 . アイドリングストップに努めている	28.1
5 . こまめに消灯するなど省エネに努めている	68.1
6 . 冷暖房の設定温度を控えめにしている	59.8
7 . シャワーの使用を減らすなど、節水に努めている	28.5
8 . 洗車や植木の水くれに雨水や風呂の残り湯を利用している	20.4
9 . 花や緑を育てている	53.8
10 . たばこの吸いから、ごみや空き缶の投げ捨てをしない	55.6
11 . 再生品など環境に配慮した商品を購入している	20.6
12 . ごみの分別を徹底している	76.6
13 . リサイクルに努めている	30.3
14 . 地球温暖化やオゾン層の破壊などの環境問題について勉強したことがある	19.5
15 . その他	0.8
16 . 特に何もしていない	0.6
( 無回答 )	1.1

環境改善のために日常生活の中で行っていることを聞いたところ、「ごみの分別を徹底している」(76.6%)が7割半ばで最も多く、次いで「こまめに消灯するなど省エネに努めている」(68.1%)、「台所の排水溝や三角コーナーに水切りごみ袋を使っている」(67.5%)、「冷暖房の設定温度を控えめにしている」(59.8%)、「たばこの吸いから、ごみや空き缶の投げ捨てをしない」(55.6%)、「食器やなべの油汚れは、ふきとってから洗っている」(54.2%)、「花や緑を育てている」(53.8%)などの順となっている。

図3 - 2 - 1 環境改善のために日ごろ心がけていること



属性分析 (図3 - 2 - 2・図3 - 2 - 3)

【性別】

「食器やなべの油污れは、ふきとってから洗っている」は女性の方が22ポイント高くなっている。また、「再生品など環境に配慮した商品を使っている」は16ポイント、「冷暖房の設定温度を控えている」は13ポイント、「こまめに消灯するなど省エネに努めている」と「台所の排水口や三角コーナーに水切りゴミ袋を使っている」では10ポイント、それぞれ女性の方が高くなっている。

【性・年齢別】

「ごみの分別を徹底している」、「こまめに消灯するなど省エネに努めている」、「台所の排水口や三角コーナーに水切りゴミ袋を使っている」は、おおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。「冷暖房の設定温度を控えている」は女性30代(72.4%)で7割を超えている。「食器やなべの油污れは、ふきとってから洗っている」は女性50代以上の年代で7割を超えている。「花や緑を育てている」は男女とも50代以上の年代で6割を超えている。「シャワーの利用を減らすなど、節水に努めている」は男性70歳以上(44.8%)で4割半ばを占めている。「再生品など環境に配慮した商品を購入している」は女性50代(38.2%)で4割近くに達し多くなっている。(図3 - 2 - 2、図3 - 2 - 3)

図3 - 2 - 2 環境改善のために日ごろ心がけていること - 属性別

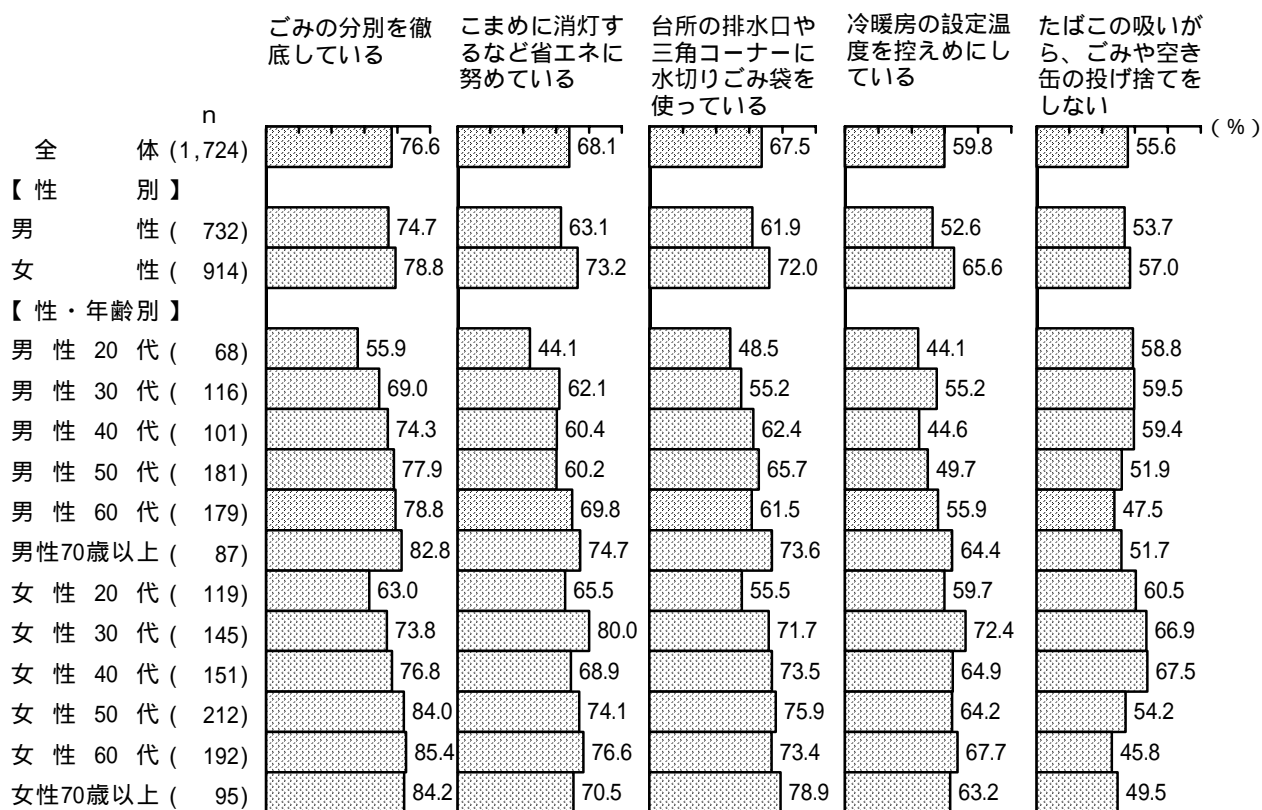
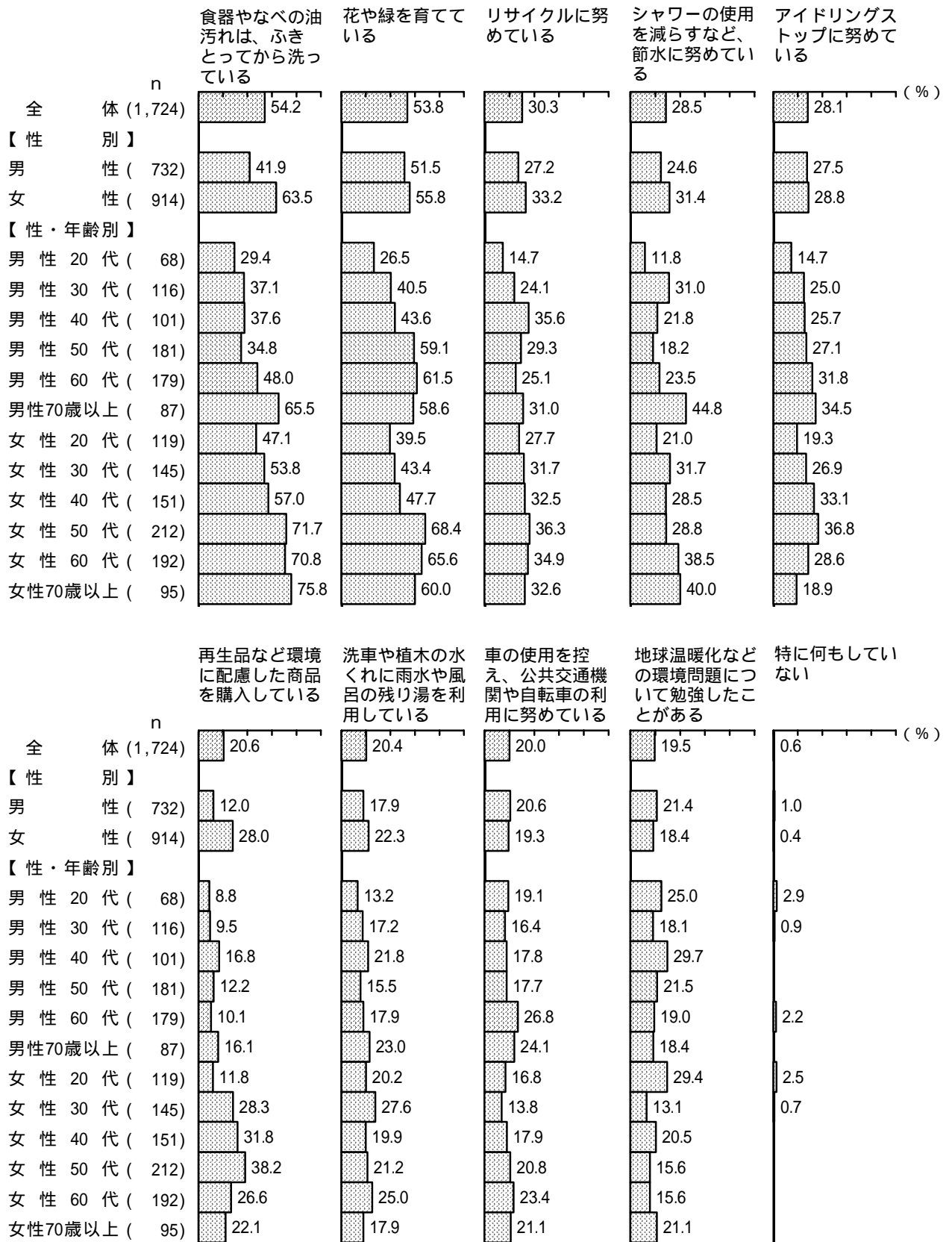


図3 - 2 - 3 環境改善のために日ごろ心がけていること - 属性別



## 4. ボランティア活動

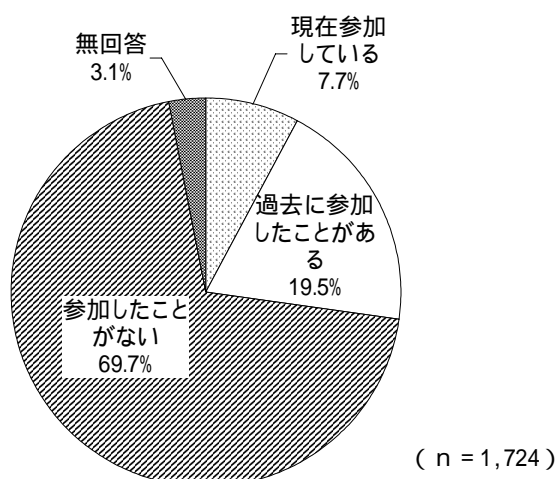
### 4 - 1. ボランティア活動の参加

ボランティア活動の参加経験がある人は3割近く

問 13 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。 (n = 1,724)			
1. 現在参加している	7.7%	3. 参加したことがない	69.7
2. 過去に参加したことがある	19.5	(無回答)	3.1

ボランティア活動への参加経験について聞いたところ、「現在参加している」(7.7%)と「過去に参加したことがある」(19.5%)を合わせた『参加したことがある(計)』(27.2%)は3割近くに達している。「参加したことがない」(69.7%)は7割を占めている。(図4 - 1 - 1)

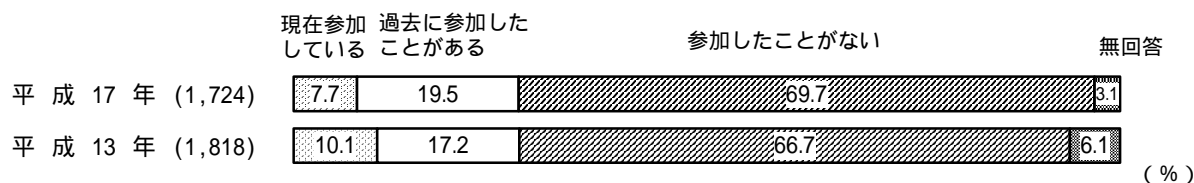
図4 - 1 - 1 ボランティア活動の参加



#### 【過年度比較】

「現在参加している」は前回調査より2.4ポイント低くなっているが、『参加したことがある(計)』と「参加したことがない」の割合は、前回と同じ傾向になっている。(図4 - 1 - 2)

図4 - 1 - 2 ボランティア活動の参加 - 過年度比較



属性分析(図4 - 1 - 3)

【性別】『参加したことがある(計)』は女性の方が3ポイント高くなっている。

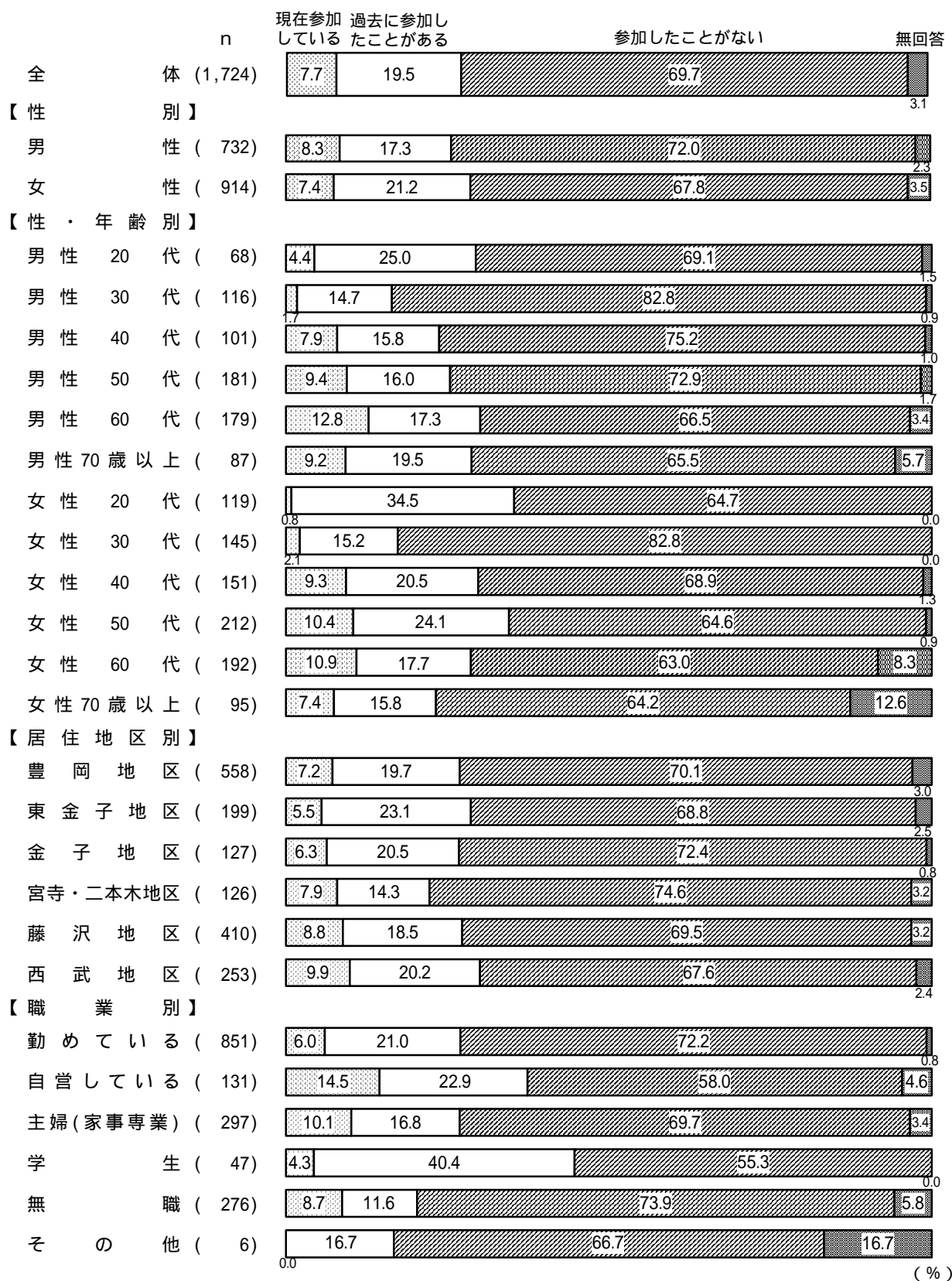
【性・年齢別】「現在参加している」は男性50代以上と女性40代から60代の各年代で1割前後を占めている。『参加したことがある(計)』は女性20代と50代で3割半ばを占めている。

【居住地区別】各地区間で大きな差はみられない。



【職業別】「参加している」は自営している（14.5%）で1割半ばを占めている。『参加したことがある（計）』は学生（44.7%）で4割半ば、自営している（37.4%）で4割近くを占めている。

図4 - 1 - 3 ボランティア活動の参加 - 属性別



( 1 ) ボランティア活動に参加した理由

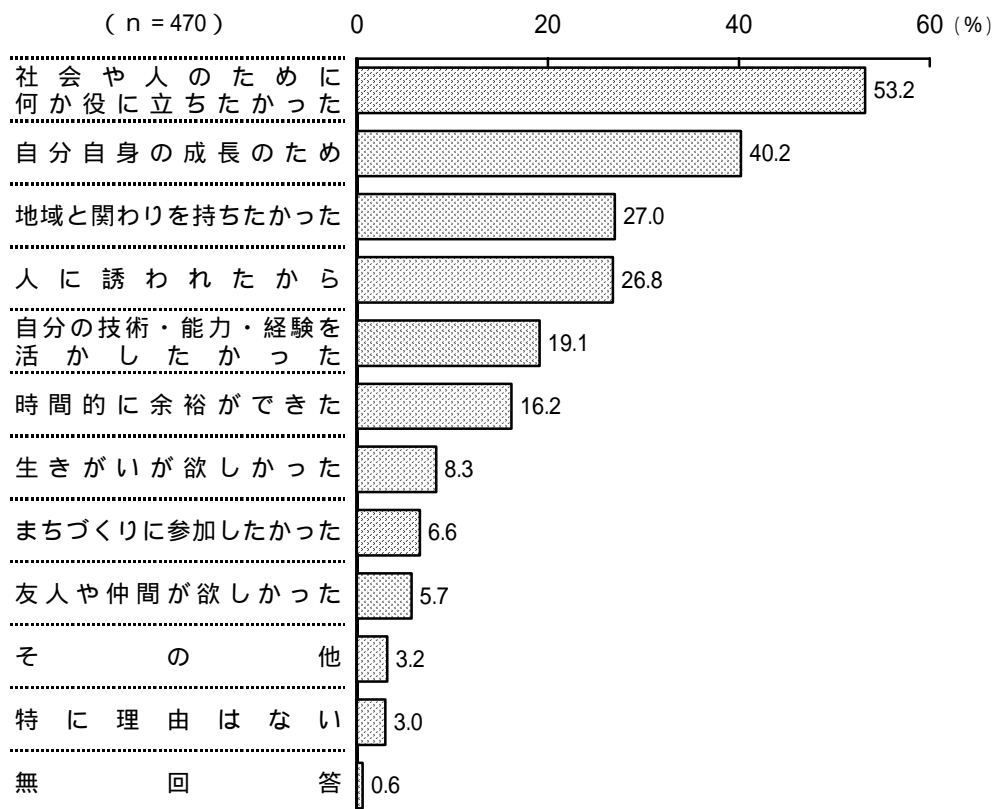
「社会や人のために何か役に立ちたかった」が5割を超えて最も多い

(問13で「1. 現在参加している」「2. 過去に参加したことがある」と答えた方に)  
 問13-1 参加の動機は何ですか。主なものを3つまで選んでください。(n=470)

1. 社会や人のために何か役に立ちたかった	53.2%	7. 自分の技術・能力・経験を活かしたかった	19.1
2. 地域と関わりを持ちたかった	27.0	8. 友人や仲間が欲しかった	5.7
3. 人に誘われたから	26.8	9. 生きがい欲しかった	8.3
4. 時間的に余裕ができた	16.2	10. その他	3.2
5. まちづくりに参加したかった	6.6	11. 特に理由はない	3.0
6. 自分自身の成長のため	40.2	(無回答)	0.6

ボランティア活動に参加したことがある人(470人)に、その動機を聞いたところ、「社会や人のために何か役に立ちたかった」(53.2%)が5割を超えて最も多く、次いで「自分自身の成長のため」(40.2%)、「地域と関わりを持ちたかった」(27.0%)、「人に誘われたから」(26.8%)、「自分の技術・能力・経験を活かしたかった」(19.1%)などの順となっている。(図4-1-4)

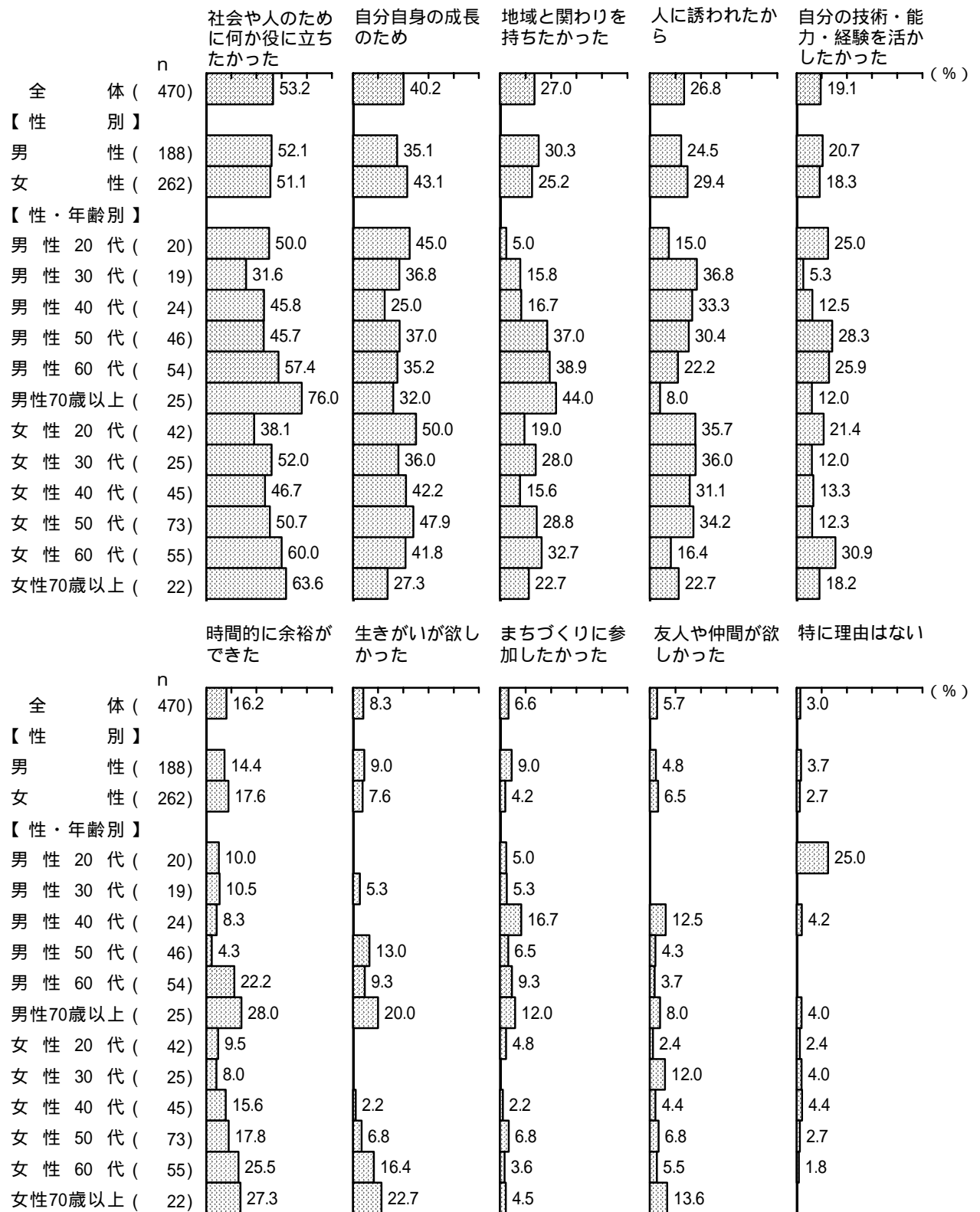
図4-1-4 ボランティア活動に参加した理由



属性分析 (図4 - 1 - 5)

【性・年齢別】「社会や人のために何か役に立ちたかった」は男性70歳以上(76.0%)で7割半ばに達して多くなっている。「地域と関わりをもちたかった」は男性50代以上の年代で4割前後を占めている。「人に誘われたから」は男性30代と女性20・30・50代で3割半ばを占めている。

図4 - 1 - 5 ボランティア活動に参加した理由 - 属性別



(2) ボランティア活動に参加しない理由

「参加する機会がなかった」が5割を超えて最も多い

(問13で「3.参加したことがない」と答えた方に)

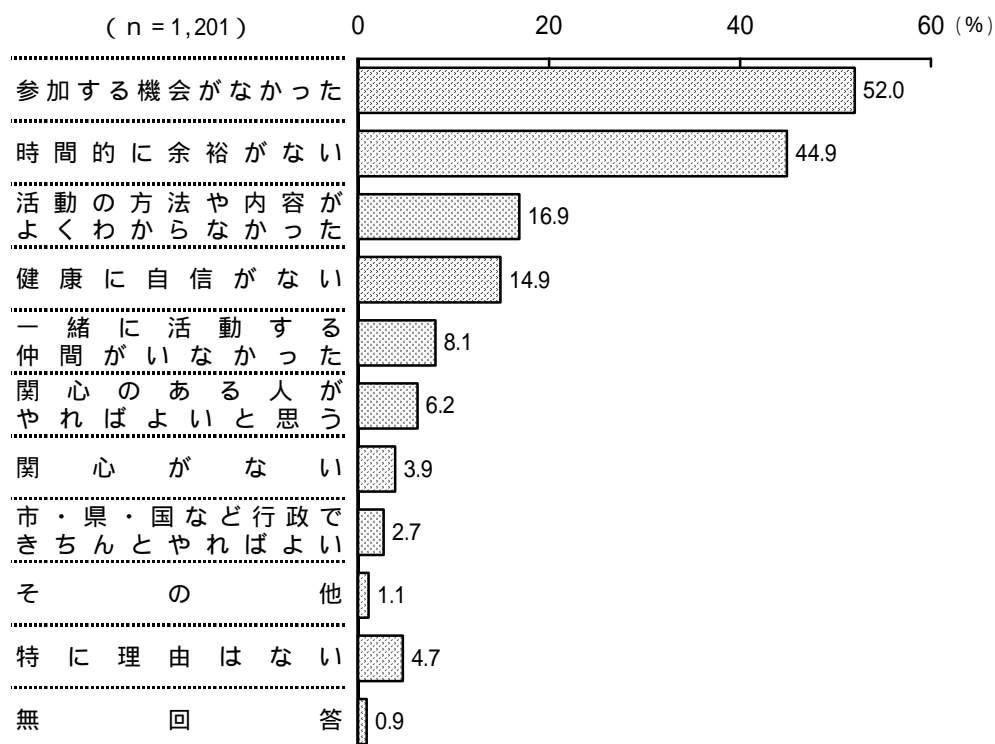
問13-2 参加しない理由は何ですか。主なものを2つまで選んでください。

(n=1,201)

1. 参加する機会がなかった	52.0%	6. 関心のある人がやればよいと思う	6.2
2. 活動の方法や内容がよくわからなかった	16.9	7. 市・県・国など行政できちんをやればよい	2.7
3. 一緒に活動する仲間がいなかった	8.1	8. 関心がない	3.9
4. 時間的に余裕がない	44.9	9. その他	1.1
5. 健康に自信がない	14.9	10. 特に理由はない	4.7
		(無回答)	0.9

ボランティア活動に参加したことがない人(1,201人)に、その理由を聞いたところ、「参加する機会がなかった」(52.0%)が5割を超えて最も多く、次いで「時間的に余裕がない」(44.9%)、「活動の方法や内容がよくわからなかった」(16.9%)、「健康に自信がない」(14.9%)などの順となっている。(図4-1-6)

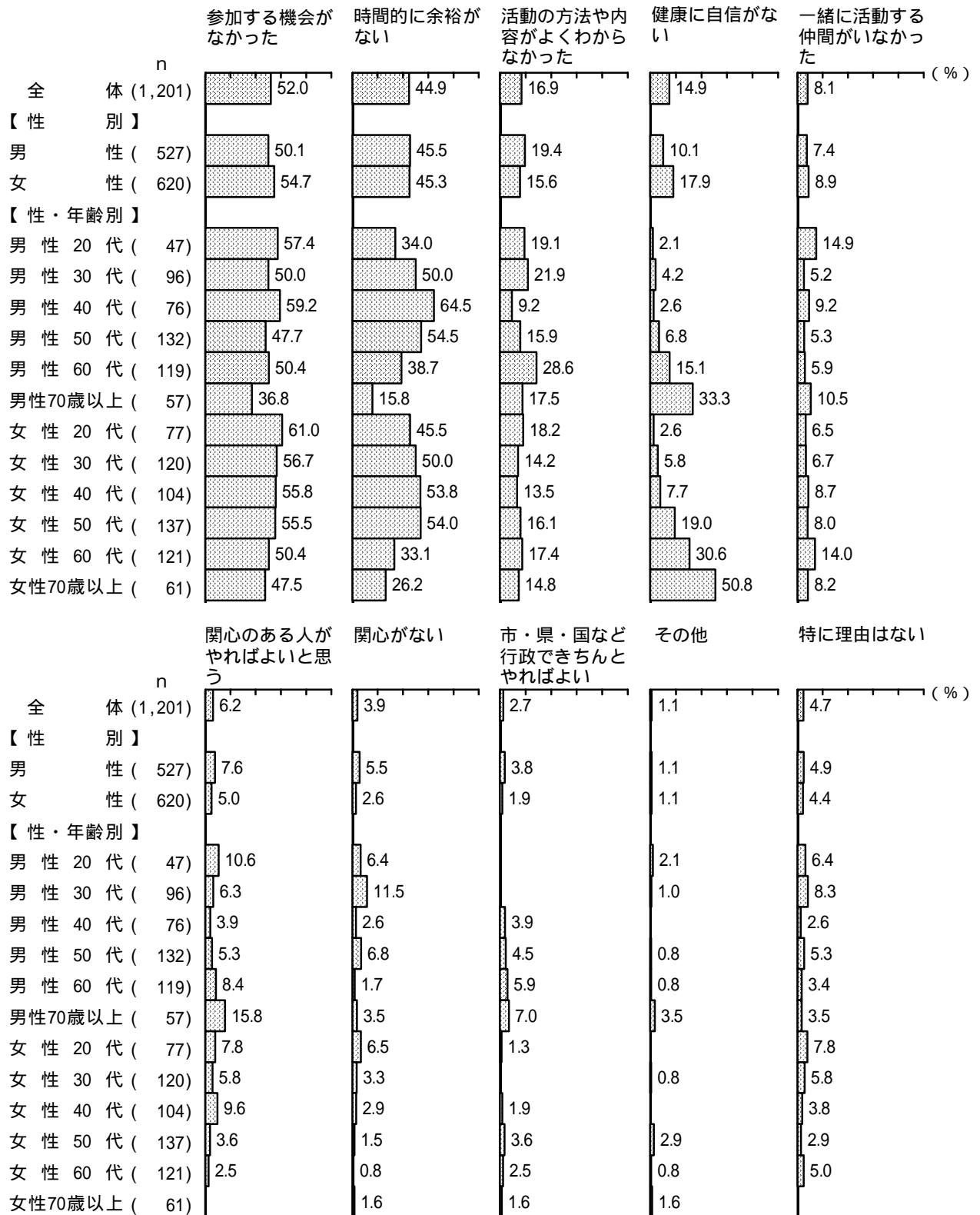
図4-1-6 ボランティア活動に参加しない理由



属性分析(図4-1-7)

【性・年齢別】「時間的に余裕がない」は男女とも30代から50代で高く、特に男性40代(64.5%)で6割半ばに達して多くなっている。男性70歳以上と女性の60代以上の年代では、「健康に自信がない」が多くなっている。

図4-1-7 ボランティア活動に参加しない理由 - 属性別



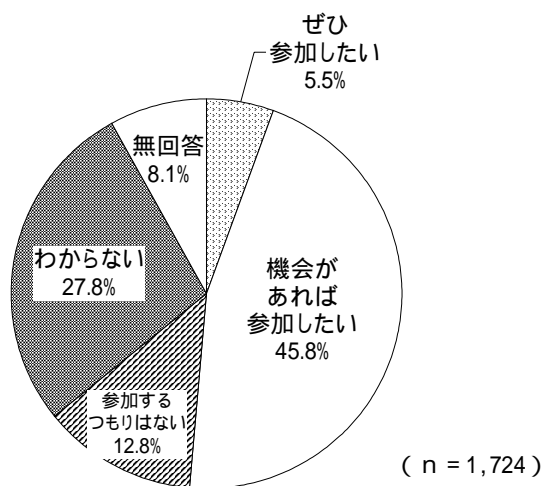
#### 4 - 2 . 今後のボランティア活動への参加意向

「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせると5割を超える

問 14 今後、ボランティア活動に参加してみたいと思いますか。		( n = 1,724 )	
1 . ぜひ参加したい	5.5%	3 . 参加するつもりはない	12.8 ( 無回答 ) 8.1
2 . 機会があれば参加したい	45.8	4 . わからない	27.8

今後のボランティア活動への参加意向を聞いたところ、「ぜひ参加したい」(5.5%)と「機会があれば参加したい」(45.8%)を合わせた『参加意向(計)』(51.3%)は5割を超えている。「参加するつもりはない」(12.8%)は1割を超える程度である。

図 4 - 2 - 1 今後のボランティア活動への参加意向



属性分析 ( 図 4 - 2 - 2 )

##### 【性別】

男女ともほぼ同じ傾向になっている。

##### 【性・年齢別】

『参加意向(計)』は男性40代と60代、女性50代で6割を超えている。

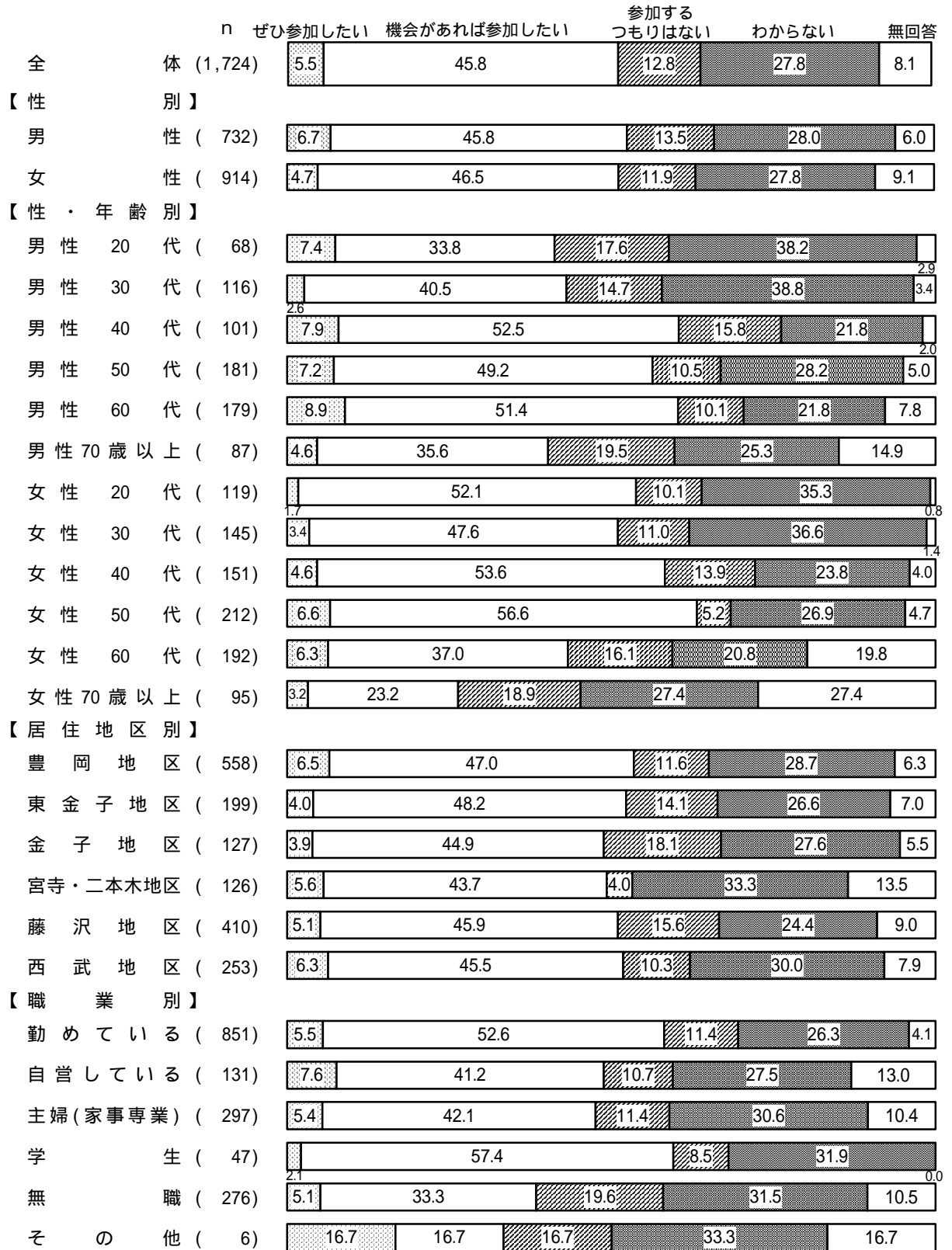
##### 【居住地区別】

各地区間で大きな差はみられない。

##### 【職業別】

『参加意向(計)』は学生(59.5%)と勤めている(58.1%)で6割近くを占めている。

図4-2-2 今後のボランティア活動への参加意向 - 属性別



(%)

( 1 ) 参加したいボランティア活動

「高齢者の支援」、「環境保護」、「子育て支援」が上位

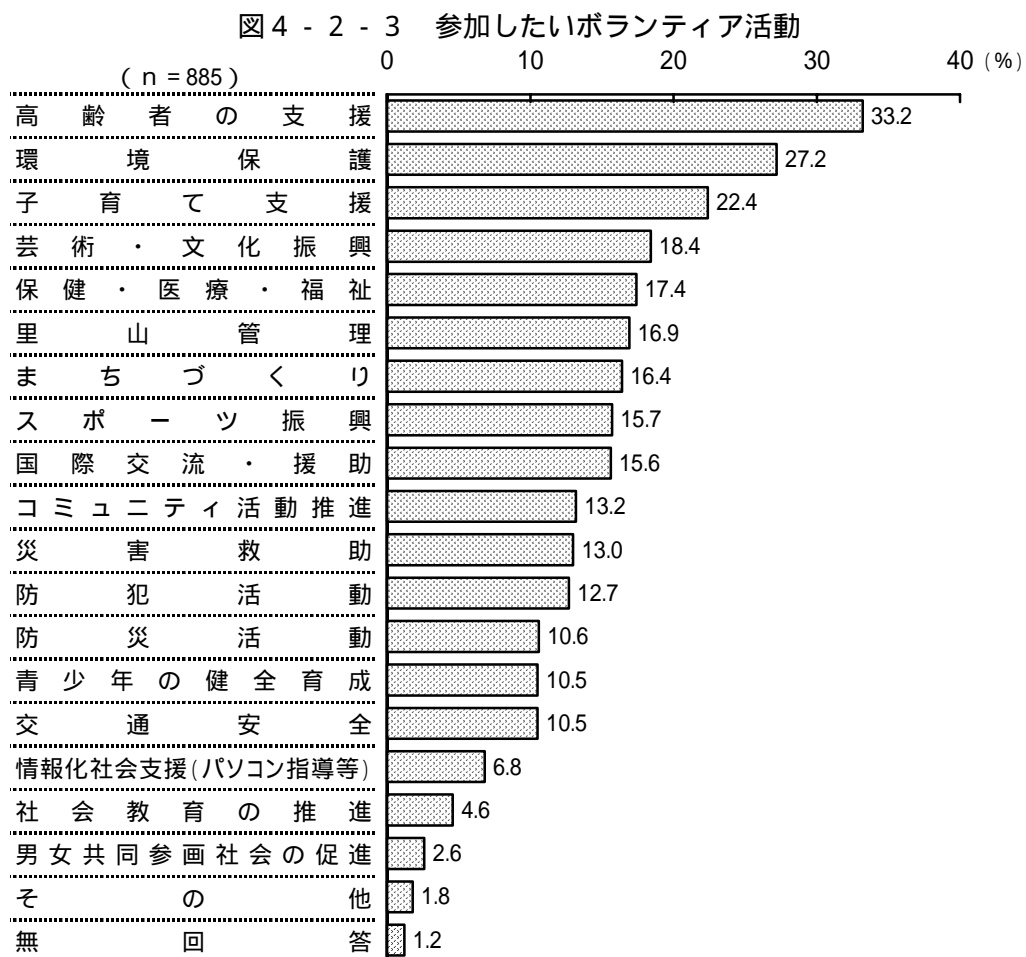
(問 14 で「 1 . ぜひ参加したい」「 2 . 機会があれば参加したい」と答えた方に)

問 14 - 1 あなたは、どんなボランティア活動に参加したいですか。次の中からいくつでも選んでください。( n = 885 )

1 . コミュニティ活動推進	13.2%	11 . 国際交流・援助	15.6
2 . 保健・医療・福祉	17.4	12 . 交通安全	10.5
3 . 災害救助	13.0	13 . 男女共同参画社会の促進	2.6
4 . 環境保護	27.2	14 . 社会教育の推進	4.6
5 . 里山管理	16.9	15 . 子育て支援	22.4
6 . 芸術・文化振興	18.4	16 . 情報化社会支援(パソコン指導等)	6.8
7 . スポ - ツ振興	15.7	17 . 防犯活動	12.7
8 . まちづくり	16.4	18 . 防災活動	10.6
9 . 青少年の健全育成	10.5	19 . その他	1.8
10 . 高齢者の支援	33.2	(無回答)	1.2

今後、ボランティア活動に参加する意向のある人(885人)に、どのようなボランティア活動に参加したいか聞いたところ、「高齢者の支援」(33.2%)が3割を超えて最も多く、次いで「環境保護」(27.2%)、「子育て支援」(22.4%)、「芸術・文化振興」(18.4%)、「保健・医療・福祉」(17.4%)、「里山管理」(16.9%)、「まちづくり」(16.4%)などの順となっている。

(図 4 - 2 - 3)





属性分析(図4-2-4、図4-2-5)

【性・年齢別】「高齢者の支援」は女性60代(65.1%)で6割半ばを占めている。「子育て支援」は女性20代から40代で4割を超えている。「保健・医療・福祉」は女性20代から40代で、「里山管理」は男性40代から60代で、「スポーツ振興」は男性20代と30代で、「災害救助」は男性30代と70歳以上で、「交通安全」は男性60代以上の年代で、それぞれ多くなっている。

図4-2-4 参加したいボランティア活動 - 属性別

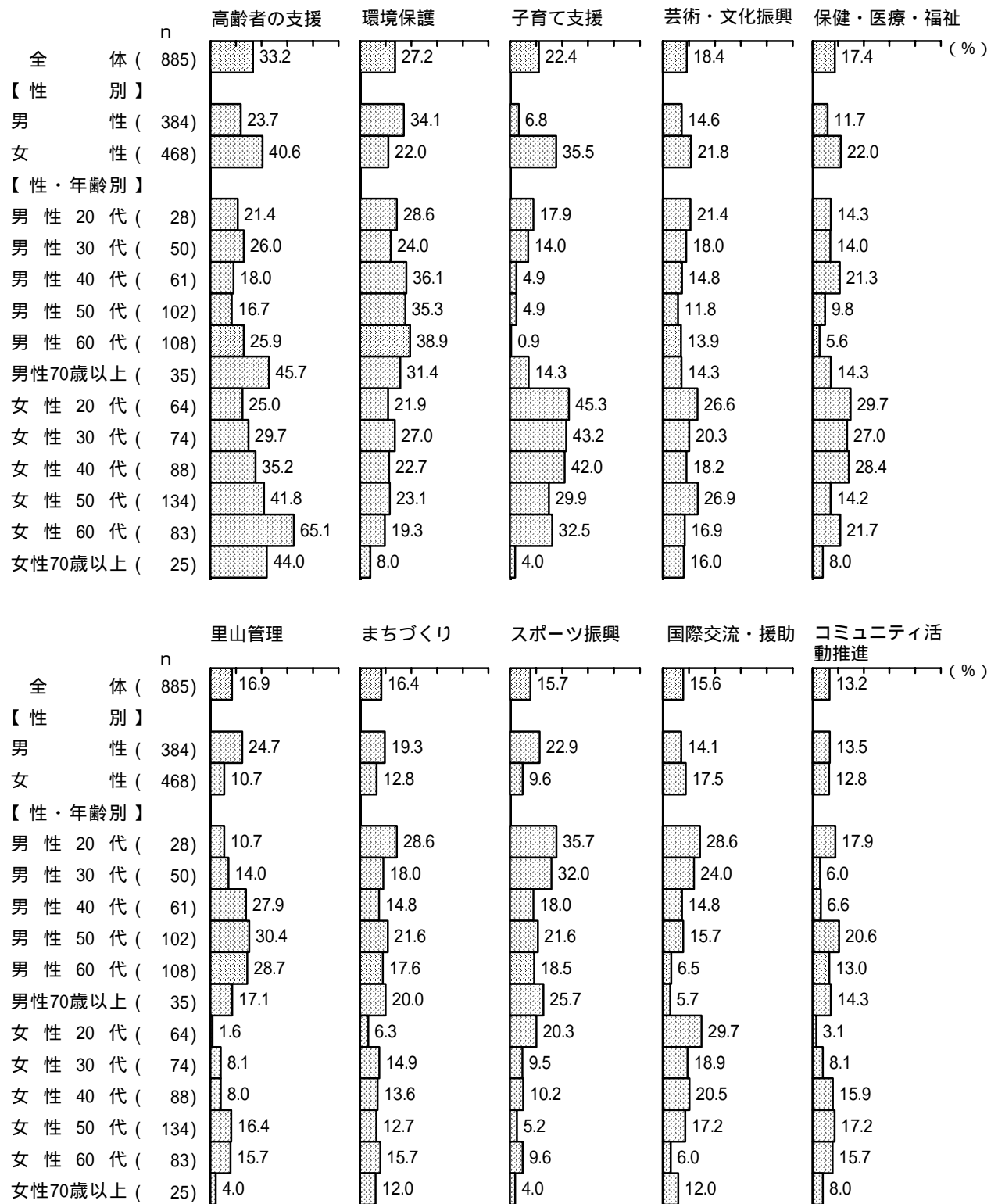


図4-2-5 参加したいボランティア活動 - 属性別

